家庭数配布

井吹東だより

令和　６年　３月１８日
３月臨時号
神戸市立井吹東小学校

心豊かに　たくましく　自ら学ぶ　いぶきの子

後期の学校評価について

校内の桜の蕾もかなり大きくなっています。あっという間に今年度が終わろうとしています。この一年間、井吹東小学校の教育にご理解ご協力いただき本当にありがとうございました。「すぐーる」でお願いした後期の学校評価アンケート、お忙しい中お答えただき、ありがとうございました。この学校だより臨時号で後期の評価の結果をお知らせさせていただきます。

音楽会はたくさんの保護者の方に鑑賞してもらい子供たちは大変うれしそうでした。アンケート項目の「音楽会の練習や本番を一生懸命取り組むことができた」では１学期の運動会同様、児童９５％、保護者９２％、教職員９５％と得点がとても高いです。子供たちは音楽会に向けて一生懸命練習を積み、音楽会当日に十分にその力を発揮して合唱し演奏できたことに十分満足しているようです。保護者の方や教職員も同じ思いなのでしょう。運動会や音楽会という大きな行事はやはり子供たちを大きく成長させている要因の一つだと考えます。来年度もよりよい行事を行えるよう、より一層我々教職員、取り組んでいきたいと思います。

今回の後期学校評価アンケート結果をもとに、それぞれの評価を分析し、来年度の学習面・生活面・学校運営について生かして行きたいと思います。

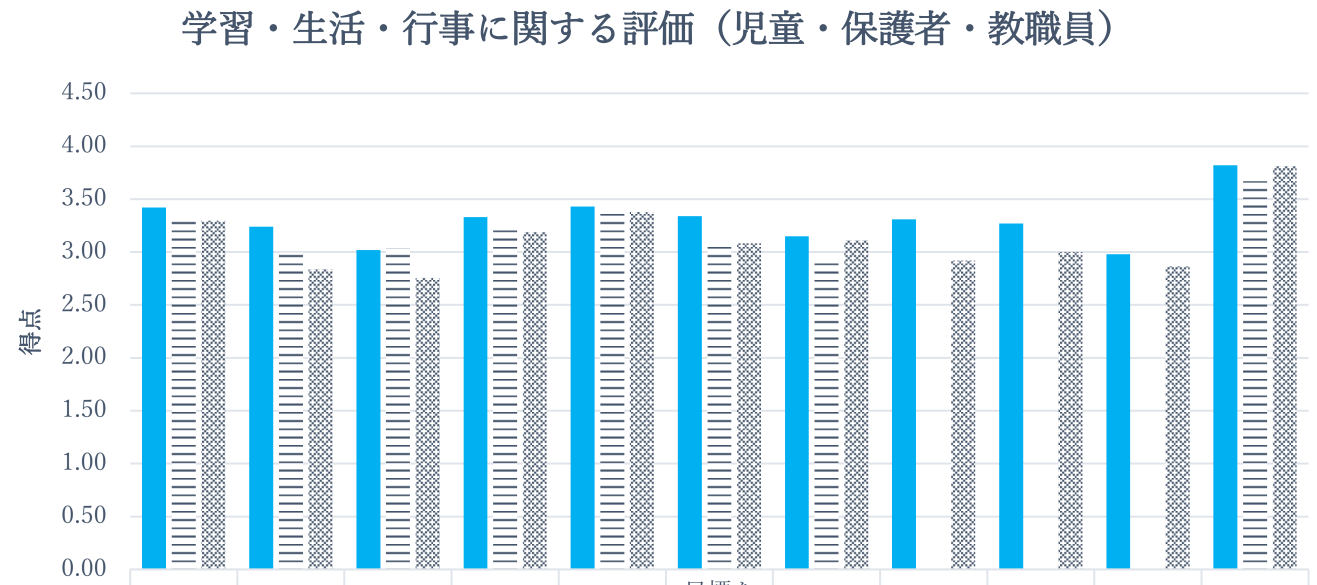
グラフの見方について

・グラフが高いほど、肯定的な回答が多かったことを意味します。

・「よくあてはまる」を４点満点とし、全回答の平均点を示しています。
「よくあてはまる」と回答した場合、得点は４点
「あてはまる」は３点
「あまりあてはまらない」は２点
「あてはまらない」は１点
となります。

・グラフは全体の傾向を示したものです。一人一人が「心豊かに　たくましく　自ら学ぶ」「smile　powerful　challenge」を達成できるように指導・支援を続けます。ご家庭でも、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

学習・生活について



	学校を楽しいと感じている	すすんであいさつしている	自分のよいところを知っている	友達のよいところを知っている	学級の友達と仲良く生活している	目標をもち、最後まであきらめずに物事に取り組んでいる	自分から進んで学習に取り組んでいる	進んでもくもくそうじをしている	友達の話をよく聞いている	進んで発表している	音楽会の練習と本番、一生懸命に取り組んでいた
■児童	3.42	3.24	3.02	3.33	3.43	3.34	3.15	3.31	3.27	2.98	3.82
〓保護者	3.29	3.00	3.03	3.25	3.38	3.09	2.94				3.67
※教職員	3.30	2.84	2.76	3.19	3.38	3.08	3.11	2.92	3.00	2.86	3.81

■児童　〓保護者　※教職員

①　児童アンケート（学習・生活・学校行事）においては「学校は楽しい」は８６％、「学級の友達と仲良く生活している」でも８６％、また「友達のよいところを知っている」も８３％の児童が肯定的な回答をしています。これは前期のポイントと全く同じです。年間を通して仲間と仲良く楽しく学校生活を送ることができたようです。保護者の方、教職員においても「学校は楽しい」が８２％と８３％、「仲良く生活している」がどちらも８５％という結果になりました。見守る側、指導する側からも子供たちがお互いを認め合い、生き生きと活動していた姿を見聞きすることができたと言えると思います。

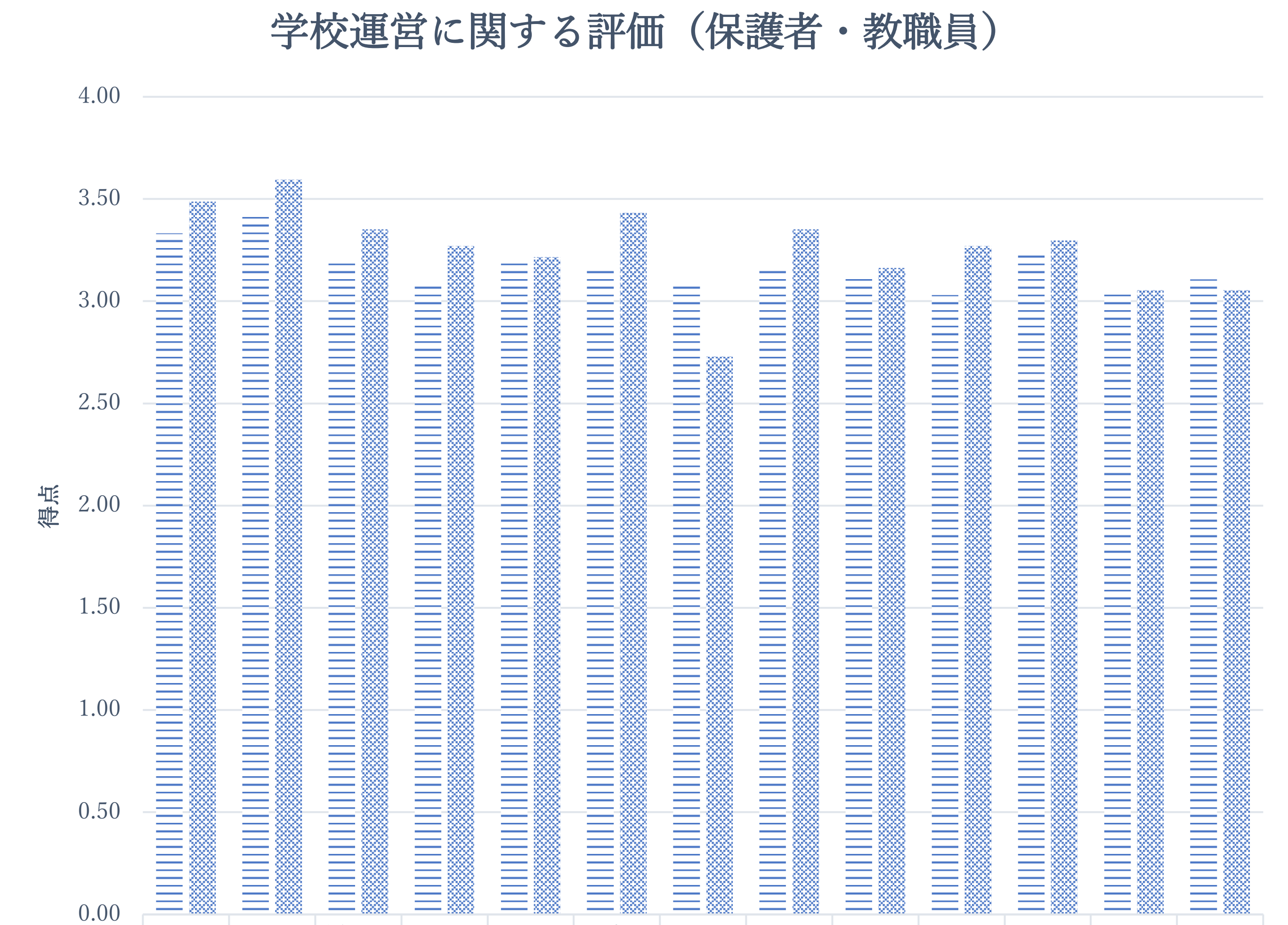
②　「自分の良いところを知っている」の項目は児童が７６％、見ている教職員が６９％と１学期とほぼ同じ数字になりました。もっと子供の自己肯定感を高めるための取り組みが必要であると感じました。「自分の考えを進んで発表している」は児童が７５％、教職員が７２％となりました。教職員のポイントが昨年度より７ポイントあがり、少しずつですがわかりやすい授業作り、学級集団作りの研修の成果が出てきていると思われます。

③　本校の生徒指導の柱にしている「進んであいさつをしている」が、児童は８１％（一学期より３ポイント down）、教職員が７４％（一学期より２ポイント up）という結果となりました。校内ですれ違う時

も、外部のお客様にも、横断歩道に立ってくださっている見守り隊の方々にもよく挨拶をしています。「もくもくそうじ」は、児童は８３％（一学期より１ポイント down)、教職員は７３％（一学期より２ポイント down）少し残念な結果となりました。今後、児童も教職員も気を引き締めてもくもくそうじに通り組んでいきたいと思います。

④　「進んで学習する」では、児童は７９％（一学期と同じ)、保護者７４％（1 学期より１ポイント up)、教職員７８％（一学期より２ポイント up）という評価になりました。「主体的に学習に取り組む態度」の育成を目指し、その力を伸ばすための手立ての一つとして昨年度から「じぶん学習（家庭学習)」の取り組みが始まっています。そのじぶん学習も少しずつ定着するようになり、自らにあった学習方法で学んでくる子も増えてきました。普段の授業のほうでも、子供が「自ら学びたい」「自ら調べたい」というような魅力的な授業を行えるよう、一人一人の教員がより一層研修に取り組んでいきたいと思います。

学校経営について



	学校目標は適切だ	育てたい子供の姿は適切だ	授業を通して子供たちの学力……	子供が学習でつまずいた時に……	子供たちが思いやりの心を……	児童が困ったことに丁寧に……	学校生活の中で子供の体力……	子供の健康や安全に関して……	家庭や地域と協力して……	いじめが起きない環境……	学校は教育方針や教育内容……	学校からの情報発信は、……	学校生活のルールやきまり……
保護者	3.33	3.42	3.19	3.09	3.19	3.18	3.08	3.17	3.12	3.03	3.24	3.06	3.11
教職員	3.49	3.59	3.35	3.27	3.22	3.43	2.73	3.35	3.16	3.27	3.30	3.05	3.05

学校経営に関して、保護者の方の評価はほぼ１学期と同じ評価になりました。来年度は「いじめが起きない環境づくり」では、子供たちがストレスなく過ごせる学級づくりを心掛けていきます。「学習でつまずいた時の丁寧なサポート」では、しっかり子供たち一人ひとりの学習状況を把握し声をかけていくようにします。「学校からの情報発信の分かりやすさ」は、お知らせ等の手紙は下記にもありますよう極力デジタル化を進めていきたいと思います。「家庭や地域と協力して育てる」では、保護者の方との対話を大切にし、よりよい子供の成長につなげていきたいと考えています。それぞれ項目にもっとよい評価をいただけるよう、上記の取り組みを行っていきます。

また来年度一学期末に評価いただければと思います。今後とも、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

―いただいたご意見について―

◎学校評価のアンケート内容項目について、実際にどうなのか分からない設問が多かったです。回答選択肢に「わからない」または「どちらにもあてはまらない」が必要だと感じました。

→　複数同じようなご意見を頂いたので、設問内容を再度検討します。

◎配布プリントは極力デジタル化してほしいです。

→　新年度から「ほけんだより」「給食だより」など子供に指導するものや保護者からお返事をいただくものは紙ベースで、それ以外のものについては、極力「すぐーる」で配布します。

◎家に帰って隠れてタブレットでゲームばかりしています。指導してほしいです。

→　各クラスで「タブレットは学習以外には使いません」を繰り返し指導します。お家のほうでもご指導よろしくお願いします

◎1 年生で購入の算数ボックスですが、計算カード以外はあまり使わないようなものがあったようです。

→　２年生以降でも使用する単元があるので、積極的に取り入れて使用していきます。

◎４・５・６年生ではファスナー式の筆箱を使用できるようにしてほしいです。

→　全学年「箱型の華美でないもの」を推奨しています。理由は「筆箱の中の様子を一目で確認できる」からです。本人も教師も何があって何が無くなっているか把握しやすいからです。あとは「箱型は児童机の中に収納しやすい」「鉛筆キャップが不要で済む」などの理由があります。１年生の時に買ったものを６年間大事に使っている児童もいます。自分の文房具を大切に使う心も育てていきたいと考えています。

◎音楽会の時、保護者が席取りに走ったり後に来る人の席を物を置いて取っていたりと、余りにも目に余る行動が見られました。

→　安全に公平になるように検討します。保護者の方々もマナーを守っていただきますようお願いします。

◎タブレットのスカイメニューの電子連絡帳を保護者のスマホでも見ることができるようにしてほしいです。

→　スカイメニューは学習で使うものなので、システム上、保護者の方のスマートフォンでは見ることができません。

他にも多くのご意見を頂きました。それぞれのご意見を丁寧に精査し、来年度への教育活動に生かしてまいります。